

<http://kinki-sha.org/>

# 近畿学校保健学会通信

No.134

平成25年3月 日発行  
近畿学校保健学会事務局  
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1  
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内  
TEL&FAX:073-441-0646  
URL:<http://kinki-sha.org/>  
E-mail:kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp  
振替口座 00940-5-181826

## 目 次

第60回近畿学校保健学会開催要項	2
学会新企画 第2回：データを集める	8
第1回研修セミナー報告	10
第2回幹事会議事録	11
学校保健の話題	11
編集後記	12

### 会費納入と会員勧誘についてのお願い

今年も年度末となりました。本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。平成24年度の会費（3,000円）をまだ納めておられない方は、振込用紙を同封させていただいておりますので、早急にお振込み下さいますようお願いいたします。

また、会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。なお、入会案内パンフレットおよび、入会申し込み用紙は、ホームページからダウンロード出来ますのでよろしくようお願い申し上げます。

## 第60回 近畿学校保健学会開催要項

第60回近畿学校保健学会会長 鬼頭英明  
兵庫教育大学大学院学校教育研究科

第60回近畿学校保健学会を、下記の通り開催いたします。学会では、学校現場などでの実践報告も歓迎いたします。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

1. 会場 兵庫教育大学神戸サテライト（4月以降は、神戸ハーバーランドキャンパス）、  
神戸新聞松方ホール  
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル3階，4階  
（JR神戸駅より徒歩8分，阪急・阪神高速神戸駅より徒歩13分）



2. 日時，内容 平成25年7月7日（日）10：00～16：45

午前・・・一般演題

昼・・・評議員会，総会

午後・・・特別講演「青少年の薬物乱用の現状と課題（仮題）」

和田 清（独立行政法人 国立精神・

神経医療研究センター 薬物依存研究部長）

シンポジウム「医薬品に関する管理と教育」

鬼頭 英明（兵庫教育大学大学院教授）

上田 裕司（京都市立下鴨中学校）

香田 由美（福岡県立門司学園中学校）

守谷まさ子（京都府学校薬剤師会長）

夜・・・懇親会

**3. 一般演題申込, 抄録作成**

演題は、平成25年4月8日(月)までに、第60回近畿学校保健学会事務局までお申し込みください。一般演題発表者は、共同発表者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、事前に入会手続きを行ってください。抄録は、5月17日(金)までに、A4サイズ1枚で作成し、第60回学会事務局宛、メールでお送りください。

締切り	
演題申込	4月8日(月)
学会参加	6月14日(金)
懇親会	6月14日(金)

**4. 第60回近畿学校保健学会賞**

第60回学会においても学会賞を設けることとしました。対象者は、一般演題の発表者のうち、大学院生、学部学生、若手研究者(申込時に40歳未満)に該当する方です。該当者は演題申込用紙に 印をつけてください。

**5. 参加申込, 参加費**

ご参加の数を把握いたしたく、できるだけ、別紙3により6月14日(金)までに参加申込をしてください。

正会員 1,000円(但し、平成25年度会費納入者)、当日会員2,000円、大学院生1,000円、学部学生500円

- ・平成25年度会費未納の会員の方は、当日、年度会費をお支払いください。
- ・年度会費の納入がない場合は当日会員扱いとなり、参加費は2,000円となります。

**6. 昼食**

会場周辺にはレストラン等多数あります。ガイドマップをお配りしますので、ご利用下さい。

**7. 懇親会**

7月7日(日)の学会終了後、会場近くにおいて懇親会を開催致します。詳細は、近々ホームページ等でご紹介します。ご参加の申込は6月14日(金)までお願い致します。

**8. 様式等ダウンロード** 抄録様式, 演題申込書, 参加申込書は下記よりダウンロードできます。

URL : <http://www.hyogo-u.ac.jp/kitohi17/KSHA60/index2.html>

**9. 演題申込・問い合わせ先**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学院 第60回近畿学校保健学会事務局 西岡伸紀

(TEL & FAX: 0795-44-2178, E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp))

同学会長 鬼頭 (TEL & FAX: 0795-44-2180, E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp))

## 演題申込・抄録原稿の作成要項

### 1. 演題申込

別紙の「演題申込用紙」に必要事項を記入の上、平成25年4月8日(月)までに、メール、FAX、郵送のいずれかにより、60回学会事務局宛お申し込みください。

締切り	
演題申込	4月8日(月)
抄録	5月17日(金)
(学会参加)	6月14日(金)
発表パワーポイント	7月1日(月)

### 2. 抄録原稿の作成

抄録用原稿は、下記の要項にしたがって作成し、平成25年5月17日(金)までに、Eメールに添付または郵送でお送りください。必要に応じて、次ページの「原稿見本」をご利用ください。

- ・作成ソフト：原則として、Microsoft Word または 一太郎
- ・様式：A4用紙1ページ。余白は上下30mm、左右25mm。書体は、明朝体またはゴシック
- ・演題名：中央に配置、文字は12ポイントで強調文字に
- ・発表者氏名、共同発表者、所属：右寄せにして、10ポイントで。発表者名の前に 印
- ・キーワード：3～5個、左寄せにして10ポイントで。
- ・本文：10ポイントで、2段組み。1段当たり40行、1行24字、中央は3字空け  
研究・実践の目的、研究・実践の方法、実践の内容研究・実践の結果、考察等に分けて記述
- ・抄録原稿の締切り：平成25年5月17日(金)(郵送の場合は当日消印有効)
- ・Eメール送付：抄録をファイル名「発表者名」(例えば、兵庫)として添付し、件名は「抄録原稿」としてお送りください。 [送付先：[kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp)]
- ・郵送：抄録の印刷1部、データが入っているCDを事務局(下記「5. 問い合わせ先」)までお送りください。封筒には、「抄録原稿在中」と朱書きしてください。

### 3. 発表時刻等のお知らせ

抄録原稿をいただいた後、Eメールまたは郵送でお知らせいたします。

### 4. 発表についての留意事項

- ・発表時間等：1演題につき、発表時間7分、質疑応答時間4分を予定しています。
- ・使用機器等：原則、パソコンにより、パワーポイント(MS Office 2003, 2007, 2010 対応)をお願いします。
- ・発表用パワーポイントファイル：平成25年7月1日(月)までに学会事務局[kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp)宛お送りください。ただし、ファイル容量が10MBを超える場合には、期日までにCD等で郵送して下さい。
- ・当日配布資料：配布される場合は50部ご用意ください。

### 5. 問い合わせ先：第60回近畿学校保健学会事務局

不明な点などございましたら、下記にお問い合わせください。

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学院 第60回近畿学校保健学会事務局

西岡伸紀 (TEL & FAX: 0795-44-2178, E-mail: [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp))

同学会長 (前頁の通り)

一般演題発表者は、共同発表者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、年会費3,000円を下記郵便振替口座にお振込みください。(第60回事務局とは異なります。)

加入者名：近畿学校保健学会 加入者番号：00940-5-181826 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内 近畿学校保健学会事務局 TEL&FAX：073-441-0646
--

別紙1 抄録の書き方～原稿見本～

上余白30mm

本ページの様式は、原稿様式と同じ余白、ポイントです。不要箇所を削除し、様式を整えてお使いください。

本様式は、学会ホームページの「第60回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。

URL : <http://www.hyogo-u.ac.jp/kitohi17/KSHA60/index2.html>

**演題名 (12ポイント, 中央, 強調文字)**

発表者氏名, 共同発表者氏名, 所属 (10ポイント, 右寄せ)

【記入例】 神戸彦星<sup>1)</sup>, 加東織姫<sup>2)</sup>

1) 天の川学院 2) 神戸サテライト大学

左余白25mm

右余白25mm

キーワード (3 ~ 5 個, 10ポイント, 左寄せ)

本文 (2 段組, 10ポイント, 1 段あたり40行, 1 行24文字)

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

- ・ 原稿はA4用紙1ページで余白は上下30mm, 左右25mm
- ・ 書体：明朝体またはゴシック
- ・ 演題名：中央に配置して、文字は12ポイント, 強調文字
- ・ 1行空けて発表者氏名, 共同研究者氏名, 所属を右寄せにして10ポイント。発表者氏名の前に 印
- ・ 1行空けてキーワードを3 ~ 5 個, 左寄せにして10ポイント
- ・ 1行空けて本文  
本文は10ポイントで2段組, 1段あたり40行, 1行24字, 中央は3文字空ける。目的, 方法, 結果, 考察等を簡潔に
- ・ 原稿はEメール添付または郵送にて
- ・ 抄録原稿締切り：平成25年5月17日(金)

下余白30mm

別紙 2

上余白30mm

本用紙は、下記学会ホームページの「第60回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。

URL : <http://www.hyogo-u.ac.jp/kitohi17/KSHA60/index2.html>

一般演題発表者は、共同発表者を含め、正会員であることが必要です。

## 第60回 近畿学校保健学会演題申込用紙

演題名
発表者氏名，共同発表者氏名，所属（連名のときは発表者名の前に 印，新入会員には*印）
連絡先住所 〒 氏名 E-mailアドレス TEL&FAX
発表要旨（100字程度）
第60回近畿学校保健学会賞候補者に該当します（ ） 【該当する場合は（ ）内に をつけてください】

### 注意事項

1. 演題締切り：平成25年4月8日（月）（必着）
2. 申込用紙送付先：E-mail，FAX，郵送のいずれかでお願いします。  
E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp) FAX : 0795-44-2178  
郵送先：〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学大学院 第60回近畿学校保健学会事務局  
西岡伸紀（TEL & FAX: 0795-44-2178，E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp)）
3. 申込用紙の不足の時は、学会ホームページからダウンロードするか、本用紙をコピーして使用してください。
4. 記載事項の訂正はできませんのでご了承ください。
5. 学会賞に該当する方は、ご記入ください。
6. その他については、開催要項をご覧ください。
7. 抄録原稿は、作成要項に従い作成の上、Eメール添付か、原稿とCD等を郵送してください。  
抄録原稿の締切りは、平成25年5月17日（金）（郵送の場合は当日消印有効）です。

### 事務局使用欄

受付番号

抄録原稿受付日： 月 日

発表時間：7月7日 午前 時 分から 時 分まで（ 会場）

発表時間連絡： 月 日

## 別紙 3

本用紙は学会ホームページからダウンロードできます。

URL : <http://www.hyogo-u.ac.jp/kitohi17/KSHA60/index2.html>

## 第60回近畿学校保健学会 参加申込書

平成25年 月 日申し込み

学会，懇親会ご参加の場合には，該当欄に をつけて下さい。

氏名	所属	会員・学生の別	学会参加	懇親会参加
		正会員 大学院生	当日会員 学生	

**申し込み締め切り：平成25年6月14日（金）**

E-mail添付またはFAXにて，第60回近畿学校保健学会事務局にお申し込みください。

E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp) , TEL & FAX: 0795-44-2178

### お問い合わせ先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学大学院 第60回近畿学校保健学会事務局  
西岡伸紀 ( TEL & FAX: 0795-44-2178 , E-mail : [kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp](mailto:kitohi17-KSHA60@hyogo-u.ac.jp) )

## 新企画 「学校保健分野における研究の進め方：ここが聞いてみたかったところ」

前回（通信No.132）の兵庫教育大学大学院の西岡伸紀先生に引き続き、今回は「データを集める」と題して執筆させていただくことになりました。研究経験が浅い私に何か書けるか不安がありますし、内容的に恥ずかしいところが多くありますが、大学院生時代に戻って整理してみたいと思います。

### 第2回データを集める

関西福祉科学大学 大川尚子

研究のテーマが決まり、どのような方針で研究を進めていくかがあらかじめ決まってきたら、データ収集の具体的な方法を考えることとなります。

データ収集の方法は、面接調査、質問紙調査、文献調査と大きく三つに分けられます。

- (1) 面接調査
- (2) 質問紙調査
- (3) 文献調査

(1)は、実際に調査の相手の目の前で調査を行ないますが、(2)は、誰かに調査を依頼したり、通信によって調査を行なうこともあります。(3)では、文献(本)が調査の中心になります。

(1)は、調査する側が相手と一対一で調査を行ないますから、調査効率の点では、かなり悪いこととなりますが、その代わりに、疑問に思ったことは、すぐその場で尋ねたりすることもできますし、その時の表情や態度といったものも貴重な情報となります。

(2)は、一度に大量のデータを集めることができるという点で、調査効率はいいのですが、一つ一つのデータの特徴や信頼性に充分注意する必要があります。

研究は、扱うデータの違いから量的研究と質的研究に分かれています。量的研究とは、仮説を立て、それが正しいかどうか、明らかにしていく「客観的な仮説検証」型研究です。また、質的研究とは、研究対象を数や量ではなく、質

において理解し、科学性を有した方法で分析する研究です。

(1)は質にすぐれ、(2)は量にすぐれていると言えます。(3)も、調査する側が地道に文献を読み進めていくという点では、調査効率はよくないのですが、最近では、電子ファイルを利用して、調査効率を高めることができるようになっています。

#### (1) 面接調査

面接調査は、質的研究に多く用いられる手法で、相手に直接対面して(通常は、一対一で行ないますが、対話を調査したいときなどは、複数の相手に対することもあります)、調査する側が、さまざまな問いかけをしながら、情報を得ていくというものです。時間はかかりますが、それだけにきめの細かい情報を得ることが可能です。相手に了解を得て、録音し、逐語録を作成することが多いです。

#### (2) 質問紙調査

質問紙調査は、質問紙を作成・配付して、そこに記した問に答えてもらうというかたちの調査方法です。この方法は、面接調査とは違って、一度に多くの人から情報を大量に得ることができるという特徴を持ちます。

ただし、一対一で行なわれる面接調査では、必ず回答をしてもらえると考えていいのですが、質問紙調査は、用紙を渡しても返ってこない場合を考えておく必要があります。質問紙の回収率は、調査の内容とも関わってきます。何でもとにかく自由に書いてもらうという質問紙を作成するのは、回答する方からすると面倒で、途中でいやになって投げ出してしまうという事が考えられます。一方、集計する方からしても、自由に書かれた質問紙は、そのまとめ方に苦慮するものとなります。

そのため、質問紙は、なるべく選択式にします。予想される回答を選択肢にしておいて、なおかつ、それ以外の回答を自由に書けるように、

「その他( )」のような欄を作っておくとよいでしょう。そうすれば、回答する人も、あまり労力を費やさずに、しかも、自由に書きたい場合には書けるということになります。

質問紙調査は、調査方法によって様々な特徴があります。対象者本人が記入する方法を自記式(自計式・直接記入式)と言い、調査者が記入する方法を他記式(他計式・間接記入式)と言います。

自記式には、学校や研修会の会場で集合して、一斉に配布して回収する「集合調査」、郵送により調査する「郵送調査」、インターネットによる「インターネット調査」、訪問や入口で配布して、出口で回収したりする「留め置き調査」があります。他記式には、面接による「個別面接調査」、電話による「電話調査」などがあります。

### (3) 文献調査

文献調査は、面接調査や質問紙調査のように、生きている人間そのものを対象とするものではありませんから、ある文献の文字を記している際の意識を尋ねたりすることはできません。ですから、注意深く前後の文脈を読み解いたり、全体の構成を見渡したりしながら、判断していくことが大切です。

また、文献調査は、質問紙調査のように一度に大量の資料を得るということがなかなか難しかったのですが、索引の発達と電子テキストの発達とによって、大量のデータを扱うことが可能になってきています。電子テキストは、コンピュータ上で、調べたい語句を一瞬のうちに見つけ出してくれます。どのような電子テキストがあるのかということや、自分が調査したい文

献が電子テキストで利用できるかといったような情報については前回で西岡先生に報告していただいております。

なお、言うまでもないことかもしれませんが、索引や電子テキストというものは、あくまでも便宜的な手段であって、それによって検索した部分を読み解くのは、やはり普段から培った読解の力によることを忘れてはなりません。じっくりと腰を据えて本を読むという経験を豊かにしておく必要があります。

#### < 質問紙調査の手順 >

- (1) 研究課題や問題点を確認する
- (2) 質問紙調査を企画する：対象、人数、時期等
- (3) 質問紙を作る：質問項目、回答形式
- (4) 質問紙を作る予備調査をおこなっておく：これが大切！
- (5) 質問紙調査を開始する
- (6) 集まったデータを解析する 次回以降の課題です！
- (7) 最後に報告書を作成する：学会発表、論文作成

#### < 質問紙を作るときの一般的な注意点 >

- ・ 質問の順序は答えやすいものから順に並べる。
- ・ 質問をグループに分け、関連するものは続けて質問する。
- ・ 誰でも分かる明確な言葉で書き、できるだけ短くする。
- ・ 専門用語をできるだけ使わない。
- ・ 同じ内容の質問をしない。
- ・ 1つの質問で2つ以上のことを聞かない。
- ・ 回答を誘導するような質問をしない。

「学校保健分野における研究の進め方」を新企画として掲載しています。

会員の皆様からのご意見やご質問を受けて、執筆者がそれに答えることも含め内容構成を検討する予定です。

次回の内容は、「データを分析する(2回連続)」です。

感想・ご質問は、下記のメールアドレスにお送り下さい。

兵庫教育大学大学院 西岡伸純 nobnishi@hyogo-u.ac.jp

## 第1回研修セミナー

### 「学校保健の研究の進め方：学校保健の諸活動を研究発表するために」報告

新企画である近畿学校保健学会第1回研修セミナー「学校保健の研究の進め方：学校保健の諸活動を研究発表するために」が、以下の要領で行われました。初めての試みであり、かつ時期がクリスマス前の週末であることから、参加人数が懸念されましたが、養護教諭に加え、大学院生、中学校保健体育教員、大学教員などの方々が、5府県から17人（学会員9人、非学会員8人）が参加されました。演習では、意見交換が特に活発で、発表も積極的に行われ、予定時間をオーバーするほどでした。研修会の様子については、本学会のホームページもご覧ください。

実施後のアンケートでは、研修内容の充実、研修時間の拡大や次回以降の開催への要望、意見交換したことの満足感や有用性などが述べられ、肯定的な意見を多数いただきました。研修のニーズが高いこと、学会が同様の研修を今後も継続し参加者の本学会での発表を支援する必要があることなどを実感しました。

（西岡伸紀）

日時：平成24年12月22日（土）13：30～17：00  
場所：兵庫教育大学大阪サテライト講義室404

#### 【研修内容】

1. 講義：60分
  - 1) 学会発表の仕方：学会発表の意義、申込み、発表の仕方、質疑応答等（大阪教育大学 白石龍生）
  - 2) 抄録の書き方：目的、方法、結果、考察、結論（兵庫教育大学 西岡伸紀）
  - 3) 学校保健に関わる実践発表：実践発表の特徴、留意点、発表の実際（関西福祉科学大学 大川尚子）
2. 演習：120分（担当：白石龍生、西岡伸紀、大川尚子、永井純子）
  - 1) 班作成、ファシリテーターの選出
  - 2) 各自の研究や実践の紹介（班別）：目的、方法・結果・考察、実践内容、成果と課題などについて、班内で意見交換し、研究や実践を発表する代表を選出
  - 3) 学会発表を目指すとは仮定し、代表の研究、実践等を改変（目的の明確化、内容の再検討、講師との質疑応答、発表に向けての課題など）
  - 4) 各班の代表の研究や実践を発表
  - 5) 全体の質疑応答

#### 参加者の感想

##### 良かった点

形態、内容等：講義（3）、演習のグループワーク（4）

具体的意見：研究の基本を学習（2）、研究計画作成や実施に有用（2）

- ・学習できた内容等：研究計画の立て方、研究のまとめ方、研究の細部、力量アップや研究の取組に必要な内容、自分の研究の改善点
- ・研究形態等：実践者とともに学習、他人の研究が刺激、意見交換や議論が有用、多様なアイデアをいただけたこと

##### 課題

時間が短い（4）、内容が多い（1日研修分の内容）（2）

##### 今後希望するテーマ

- ・研究方法（質的、量的、文献/質問紙調査、インタビュー）
- ・統計の基本、分析の仕方
- ・学会発表の見学、VTR視聴、抄録の検討
- ・実践報告の発表のポイント
- ・発表、質疑応答、研究計画へのアドバイスの仕方
- ・受理される論文の書き方
- ・具体的課題（保健管理、応急処置等）



## 近畿学校保健学会第2回幹事会議事録

日時：平成24年10月14日（日）

午後2時～4時

場所：大阪市立大学 生活科学研究科会議室  
（杉本キャンパス）

出席：【幹事長】宮下

【常任幹事】白石，西岡，森岡

【幹事】板持，中川，井上，藤原，三野，  
鬼頭，中村，春木，笠次，辻井，武田

【事務局】南出

（計16名，敬称略，順不同）

### 議事

#### 1) 第59回近畿学校保健学会報告について

井上文夫会長から，145名の学会参加のもと，無事終了できたことに，幹事，関係者に対して謝辞があった。宮下幹事長から，多彩な企画のもとに充実した年次学会を開催された井上会長に謝辞があった。

#### 2) 学会通信の発行（学会報告）について

No.133 第59回近畿学校保健学会（平成24年度年次学会）報告を中心とする掲載内容について説明があった。学会新企画「学校保健分野における研究の進め方」は誌面の都合で次号送りとなった。

#### 3) 第60回近畿学校保健学会について

鬼頭英明・兵庫教育大学教授から第60回近畿学校保健学会は平成25年7月7日（日）に兵庫教育大学神戸サテライトで行なわれる旨報告があった。

#### 4) 学会活動の活性化について

西岡常任幹事から，第1回研修セミナーが，12月22日（土）に大阪大学中之島センター内，兵庫教育大学大阪サテライトで行なわれ，学会通信の新企画と連動させる内容で，演習として実際の進行中のもの，これからの研究企画の進め方について，参加型で行なう。学会ホームページへ詳細を掲載する予定である。なお，非学会員に対しては，学会入会を勧めることとなった。本事業費については，平成24年度会計予備費で支弁し，次年度より予算化することとなった。

#### 5) その他

評議員の補充について，京都2名，大阪1名の欠員補充については，各府県で協議し，推薦者を次回幹事会で諮ることとなった。なお，次回幹事会は平成25年2月23日（土），大阪市立大学中之島文化交流センター（梅田）で行なわれることとなった。

## 学校保健の話題

### 1) PM2.5...環境省が指針案

中国からの飛来が懸念されている微小粒子状物質（PM2.5）の濃度は，黄砂が偏西風に乗ってくる3～5月には，今よりさらに高くなる可能性がある。環境省では，大気中の濃度が高くなった場合に外出や屋内の換気を控えるなど，注意喚起のための指針を作ることを決めた。大人よりも子どもが影響を受けやすいので，外出時のマスク，帰宅時のうがい，室内の空気清浄機などの対策が必要である。

### 2) 携帯型の「ウイルスプロテクター」...消費者庁が使用中止に

塩素成分でウイルスを除去する携帯型の「ウイルスプロテクター」でやけどの被害事例が相次いでいるとして，消費者庁は使用中止を呼びかけた。錠剤に汗などの水分が含まれると強酸性になり，服の上からでも皮膚に強い刺激を与える恐れがあるので，消費者庁は「皮膚が赤くなったらまず洗い流し，早めに皮膚科に受診してほしい」と呼びかけている。皆さんの児童生徒に使っている方がいませんか。

### 3) インフルエンザの猛威...成人患者が半数超え

インフルエンザは例年子どもを中心に流行するが，今季は成人患者が55%に上っているのが特徴である。手洗い，うがいを心がける以外に，速乾性のアルコール消毒剤も効果的である。かかったら直ちに抗インフルエンザウイルス薬で治療する。しかし，熱が下がっても数日は体内にウイルスが残っているので注意しよう。校内で感染を広げないために，「せきエチケット」（マスク，マスクがない時は，ティッシュなどで口や鼻を覆い，人から顔を背ける）を心がけることが必要である。

### 4) 大人の風疹が大流行の兆し...厚労省が予防接種を呼びかけ

大人の風疹が大流行の兆しを見せている。厚生労働省は予防接種を呼びかけている。患者の約8割は男性で，20～40代が多いのが特徴である。風疹の予防接種は，平成6年まで女子中学生に限定されていたことなどから，特に男性の接種率が低く，免疫がない人が多いことが感染拡大の一因とみられる。春は感染が拡大するので，中学1年生，高校3年生は年度末までに，予防接種を受けていない成人はできるだけ早く接種をしましょう。

（文責：森岡郁晴）

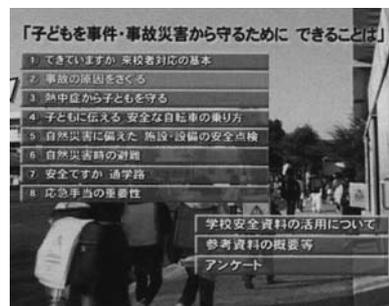
## 学校安全の校内研修用DVDの紹介

通信の余白を使い、文部科学省や日本学校保健会などの公的機関が作成し全国配布されたものの、あまり知られていないと思われる資料を紹介させていただきます。ここでは、学校安全の校内研修用DVDをご紹介します。

学校保健法が学校保健安全法に改正されて、学校安全計画の策定が義務付けられ、計画の内容の一つとして職員の研修が挙げられています。また、危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）では、作成にとどまらず、職員への周知や訓練の必要が述べられています。しかし、職員研修のために十分な時間があるわけではなく、研修の立案や研修内容の選択も容易ではありません。文部科学省では、基本的内容の研修を促すために、DVDを作成し、全国の小、中、高校へ配布しました。本DVDでは、テーマが小学校用8つ、中・高校用7つありますが、各テーマの視聴時間は10分余と短く、手軽に使えるものとなっています。養護教諭が主導的立場を果たすと思われる熱中症予防や応急手当も取り上げられています。研修例を示すPDF資料も含まれていますので、一度お使になってはいかがでしょうか？（作成協力、西岡伸紀）

### 小学校教職員研修用DVD（文部科学省，H20，国内の全小学校に配布）

- 1．できていますか 来訪者対応の基本
- 2．事故の原因を探る
- 3．熱中症から子どもを守る
- 4．子どもに伝える 安全な自転車の乗り方
- 5．自然災害に備えた施設・設備の安全点検
- 6．自然災害時の避難
- 7．安全ですか 通学路
- 8．応急手当の重要性 （各内容約10分）



### 中学校，高等学校教職員研修用DVD（文部科学省，H21，国内の全中学校，高校に配布）

- 1．安全点検のポイント～学校での事故や自然災害から命を守る～
  - 2．できていますか 不審者対策～日常の備えが生徒を守る～
  - 3．熱中症の予防～熱中症を正しく理解しよう～
  - 4．交通社会の一員として（中学校）～自転車の安全を考える～
  - 5．交通社会の一員として（高等学校）～ブレドライバーとして交通安全を考える～
  - 6．自然災害から生徒を守る～普段から災害発生時の対応を考えていますか？～
  - 7．AEDを用いた心肺蘇生法等の応急手当～生徒の命を救うために～
- （各内容約11-15分）



## 編集後記

通信の134号をお届けします。今回は、第60回近畿学校保健学会の開催案内が掲載されています。人間で60歳と言えば還暦です。近頃は、成人式に対して還暦を第二の人生の出発として祝う還暦式も行われているようです。近畿学校保健学会も次のステップに移る企画が進んでいます。誌上掲載の「学校保健分野における研究の進め方」が第2回を迎えるとともに、第1回の研修セミナー「学校保健の研究の進め方」が昨年末に開催されました。これらの企画が進んでいくと、年次学会に数多くの研究が発表されるようになって信じています。

では、本年は7月7日の七夕の日、神戸でお会いしましょう。

和歌山県立医科大学 森岡郁晴